

ライフケアガーデン湘南

症例概要 利用者氏名:80代 男性 要介護1

利用期間 : 2025年3月頃 ~ 11月現在

経過 :

前立腺肥大、不整脈、腕、両足湿疹

独居中転倒され、自宅生活困難のため入居。皮膚状態が悪く引きこもりがちだったが、医療連携と趣味を活かしたアプローチで活発になり、施設で作品展を開催しても喜ばれ、QOLが向上した事例

内容

独居で生活され、洗濯や掃除などの日常生活は自立して行えていた方ですが、令和7年2月に転倒し救急搬送され、頭部打撲による右慢性硬膜下血腫や菌血症を発症し入院となる。

その後、自宅での生活が困難となり、当施設へ入居される。

入居当初は老人性紫斑の影響で強い搔痒感があり、皮膚出血や落屑が多く見られ、皮膚を搔き壊す様子が見受けられました。気分も沈みがちで引きこもる様子が目立っていました。

本人やご家族の思いを丁寧に伺い、親身な対応を続けることを大切にしました。

ケアマネ・看護・介護のourteamが一丸となって支援にあたり、安心して治療や生活に取り組み清潔な環境作りを心がけました。

毎日下着の交換、入浴時に低刺激のシャンプー、ボディーソープにも着目し、ナースによる毎日の軟膏塗布により皮膚状態が改善された。

以前からの趣味であった絵画教室へご家族の協力のもと毎週通うことが可能となり居室でも写真を見ながら絵を描く時間が増えてきました。

さらに、居室の絵がとても素敵だった為、施設内で作品展を開催する企画をお伝えすると大変喜ばれ、「まだ皆さんに見てももらいたい絵がある」とご自宅から作品を持参されるなど、意欲的に活動されるようになりました。

絵画活動をきっかけに表情は明るさを取り戻し、施設のレクリエーションにも積極的に参加されるようになり、笑顔が増え、生き生きとした姿が見られています。絵を通して自己表現や交流の機会を得られたことは、入居後の生活の質の向上に大きく寄与しました。

ご本人が「皆さんに僕の絵を見てもらってとても嬉しい」と語られるようになったことは、私たちにとっても大きな励みとなっています。

また当施設の紹介をしていただき、親戚をショートステイ利用に繋げることが出来ました。「久しぶりに会えてうれしかった」と話されていました。

今後もourteamで連携しながら、安心して生活できるよう親身な対応を続け、ご本人の「その人らしい暮らし」を支えてまいります。